



★ 業務紹介 ★

リモート検査に関する調査研究について

企画部

1 調査研究の概要

近年、業務の効率化を目的としてウェアラブルカメラやWEB会議システムなどを用いた業務の遠隔支援やリモート検査が様々な分野で行われ始めています。行政官庁の立会検査のうち、危険物施設の完成検査等においても一部の市町村でリモート検査が行われているところです。これらを踏まえ、協会業務の効率化を目的として、協会業務のうちリモート検査の導入が期待できる業務について検討を行うほか、実際の業務における試験運用を行うなど、導入に向けた基礎調査研究を行います。

2 令和5年度調査研究の進め方

令和5年度の調査研究においては、協会業務のうちリモート検査の導入が期待できる業務の検討、各業務のリモート検査に適した機器等について選定を行います。

また、リモート検査の導入へ向けた課題や問題点の抽出を目的として、まずは検査員とは別に協会事務所との通信及びカメラ撮影を担当する協会職員を派遣し、通常の現地審査等を実施しながら各業務の作業項目ごとにリモート検査の可能性を検証することを予定しています。調査研究の進捗状況によっては、事業所ご担当者様にカメラ撮影等を行っていただくなど、リモート検査の試験運用を行う場合もあります。

3 調査研究へのご協力について

リモート検査の検証・試験運用は、実際の現地審査等の機会を活用して行うことを想定しています。試験運用に用いる機器等は当協会で準備しますので、各事業者で用意していただく必要はありませんが、各事業者におかれましては、本調査研究の趣旨をご理解いただくとともに、検証・試験運用へのご協力の程よろしくお願いいたします。



【現地での試験実施状況】

【検査員立会状況】

図 リモート検査のイメージ（例：運搬容器の試験確認業務）